

令和3年度 政務活動費支出整理簿

(会派名 生活者ネットワーク)

| 経費項目 | 広報費 | | |
|------|-------|---------|---------|
| 整理番号 | 月日 | 支出額(円) | 支出内容 |
| 1 | 4月19日 | 90,757 | 市議会通信発行 |
| 2 | 10月8日 | 169,400 | 市議会通信発行 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 小計 | | 260,157 | 備考 |
| 合計 | | 260,157 | |

領収書



日付: 2021年4月19日
領収書番号: R-210414665102

生活者ネットワーク 御中

ラクスル株式会社

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥90,757-

但し 商品代として
上記金額を正に受領いたしました。

| ご注文番号 | 商品名 / 商品仕様 | 部数 | 出荷日 | 金額 |
|-----------------|--|---------|----------------|---------|
| 210414665102-01 | (市議会通信202104) チラシ・フライヤー, A4, 片面カラー/片面モノクロ, 光沢紙(コート), 標準: 90kg | 55,000部 | 2021年 4月19日 | ¥91,020 |

| | | |
|------------|-----|---------|
| 注文内容: | 商品: | ¥91,020 |
| 注文合計: | | ¥91,020 |
| キャンペーン値引き: | | ¥-8,514 |
| 消費税: | | ¥8,251 |
| ご請求合計金額: | | ¥90,757 |

お支払い方法:

クレジットカード



ひとりにしない！子育て・介護

生活者ネットワークの 市議会通信



市議会議員

後藤ゆう子



市民の声を、私たちが市政へ届けます

市議会議員

かとう涼子

コロナ対策という名のバラマキ予算!? —— プレミアム応援券など消費喚起3事業が可決

「新型コロナ対策に全力！」を掲げ、池澤たかし市長が西東京市の新しいリーダーに選ばれました。就任後まっさきに池澤市長が予算化したコロナ対策は、①キャッシュレス決済ポイント還元事業、②「プレミアム応援券」第2弾の実施、そして、③エッセンシャルワーカーへのプレミアム応援券配布の「消費喚起事業・豪華3点セット」でした。コロナが再拡大を続ける中、はたしてこの選択が適切だったのか、大いに疑問が残ります。

◎国からの交付金の大半が、「消費喚起事業」に消える

コロナ対策であれば市が自由に使える第3次地方創生臨時交付金は、5億7,697万円。うち約7割にあたる4億862万円もの予算が、消費喚起事業に充当されました。

昨年、申し込みが殺到したプレミアム応援券は、販売冊数を5,000冊から75,000冊へと15倍に拡大し、オンラインで抽選申込みを受け付けるとのこと。参加店舗に大手チェーンも加わるため、コロナで売上げが減少した小売店の支援につながらない可能性があります。ワクチン接種の効果が見通せない時期に大型店へ利用者が殺到すれば、市が感染リスクを助長することにもなりかねません。

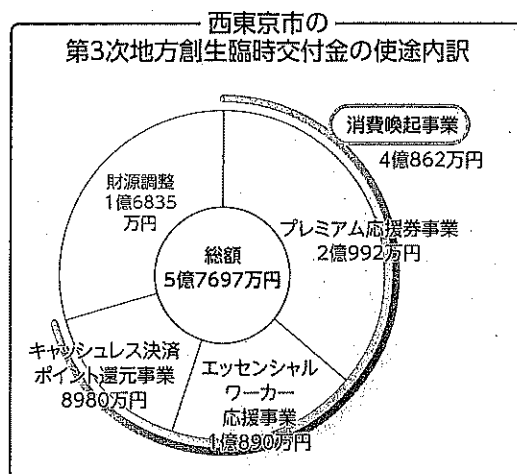
エッセンシャルワーカーには、プレミアム応援券が1人1冊（お食事券3,500円+お買物券3,500円）無料配布されます。ただし、市のエッセンシャルワーカーの定義があいまいなため、もらえなかった職種の方に不公平感が残る懸念があります。

非接触による感染防止を目的とするキャッシュレス決済は、1,000円の買い物をすれば250円分がポイント還元されるしくみですが、はたして自治体が公金を投じてまでやるべき事業でしょうか？ 市長の公約とはいえ、一部のみにしか恩恵の行きわたらない、コロナ対策という名のバラマキ補正予算に生活者ネットは反対しました。

◎困窮する若者・子ども・女性・ひとり親支援の拡充を！

ひとり親世帯の収入減少、女性の自殺者数の急増など、コロナ禍における深刻なデータが次々と公表されています。とりわけ、親からの資金援助が得られない若者・学生への支援は待たなしです。

小平市では、コロナ禍の中で困窮する児童養護施設を退所した若者に、10万円の給付金を市独自で支給しています。「子どもにやさしいまち」を標榜する池澤市長は、まずはこうした子ども・若者支援の具体的なメニューをかたちにすべきではなかったでしょうか。



「若者応援事業」を盛り込んだ修正議案を提案

生活者ネットをはじめ立憲、共産、無所属有志の11名の市議で、補正予算に関する修正動議を行いました。プレミアム応援券の販売冊数を減らし、その分を市内在住の若者と児童養護施設退所者に無料配布するというものです。残念ながら自民、公明の反対で否決されましたが、今後も政策的な提案をどんどん打ち出してまいります。



後藤ゆう子の 議会質問から

◎「ゼロカーボンシティ宣言」とともに 積極的な脱炭素に向けた取り組みを！

2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを宣言する「ゼロカーボンシティ宣言」に積極的に取り組むと市長が表明しました。評価しますが、そのためには再生可能エネルギーの普及などの具体策が必要です。公共施設で使う電力を再生可能エネルギーにシフトすることや、姉妹都市・友好都市で発電される自然エネルギーの活用など、今後も脱炭素化を進める取り組みを提案していきます。

「養育費確保支援事業」は実績ゼロ。 その理由は？

ひとり親家庭の生活を安定させるための事業が開始しました。養育費未払いが生じた際に、立替払いや相手方への滞納督促をしてもらえるよう、保証会社との契約締結費を市が補助する制度です。しかしこれまでの事業実績はゼロ。離婚時に養育費の取り決めが行われていないのが主な理由です。離婚の際に必要な手続き等の周知や相談体制の整備、公正証書や調停証書の作成費補助を市に提案しました。



かとう涼子の 議会質問から

◎PCR検査の拡充で、 無症状者からのクラスター化を防げ！

新型コロナウイルスの変異株が急速に広がる中、重症化のリスクが高い高齢者・障がい者施設でのPCR検査費用に補助金が付いたものの、利用が伸びません。事業者からは「日々の業務で手一杯」「もし陽性者が出たら人員確保できない」などの声が聞こえています。事業者が検査を安心して受けられる体制づくりをサポートすることで、無症状者の早期発見による感染拡大の防止を求めました。

◎「地域力」を育てる 市民協働条例の制定を！

所信表明で「地域力」を強調した池澤市長。財政緊縮時に、行政が「地域力=共助」を多用することには要警戒です。市民は行政の安い下請け機関ではないからです。市長はまず、コロナ禍の地域を支える公助の役割をしっかりと示すべきです。

地域力とは市民の自治力そのもの。市民自治を行政が本気で育てるといふのなら、制度的担保、すなわち市民協働条例を今こそ検討すべきです！

政治不信を招いた市長選挙——「法定ビラ」に対する市長の発言

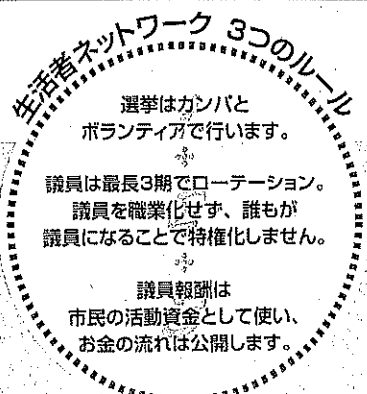
2月の市長選挙で生活者ネットが立憲、共産、無所属議員有志とともに推薦した平井竜一氏は、残念ながら1,514票の差で惜敗でした。力及ばず、応援をしていただいた皆様にお詫び申し上げます。

選挙戦最終盤に池澤氏陣営から、平井氏を誹謗中傷する「青いビラ」が撒かれました。選挙とはいえ、市政を牽引するリーダーが市民を分断し、政治不信を招くなど決してあってはならないと臨時議会で厳しく追及しました。池澤市長からは「ビラの内容は事前に知っていた」「止める判断力が無かった」「深く反省している」「市民の皆様へ何らかの形で謝罪を考えたい」等の発言がありましたが、その約束が果たされるのか注視してまいります。

このビラの件では、市民から選挙管理委員会事務局に対し「内容をチェックしないのか」「違法ではないか」など多くの声が寄せられましたが、それらは集計もされず、市長へも伝えられていませんでした。不適切だと指摘に対し、事務局長からは謝罪と「改善する」旨の発言がありました。

ご意見、ご要望お待ちしております。 TEL 042-453-4121

発行責任者：後藤ゆう子（市議会会派：生活者ネットワーク代表）
〒202-0015 西東京市保谷町6-25-1-102（会派事務所）
TEL：042-453-4121 FAX：042-410-0014
発行日：2021年4月23日
後藤ゆう子HP <http://goto.seikatsusha.me/>
かとう涼子HP <http://kato.seikatsusha.me/>



領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号 2

| | | |
|-----------|---|---------|
| 調査研究費 | | 【内容説明欄】 |
| 視察研修費 | | |
| 広報費 | | |
| 広聴費 | ○ | |
| 資料作成費 | | |
| 資料購入費 | | |
| 事務費 | | |
| 【領収書等添付欄】 | | |

領 収 証

No. _____

生活者ネットワーク様 ¥169,400- 令和3年10月8日

金額

金壹拾六萬九千四百圓也

但し「市議会通信」印刷代として

上記の金額正に領収いたしました

内 訳

税抜金額 154,000円

消費税額等(10%) 15,400円

ウチタ印刷株式会社

〒202-0022 東京都千代田区目黒1番17号

TEL 047-246-16902(代)

【留意事項】

- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。



ひとりにしない！子育て・介護

生活者ネットワークの 市議会通信



市議会議員

後藤ゆう子



市民の声を、私たちが市政へ届けます

市議会議員

かとう涼子

議会ヒトクサ

事態收拾に一つの区切り ——介護保険徴収ミスと市長の減俸条例

「不適切な事務執行によって、市政への信頼を損ねたことへの責任を取る。」池澤市長は、自らの給料を3ヵ月間50%減額する条例案を提出した。昨年8月に発覚した、約42,000人への介護保険の誤徴収。その責任を受け5ヵ月間の減給となった当時の池澤副市長は、減給途中で辞任し、市長選へ出馬。残る減給分をどう取り扱うのかが注目されていた。

事態の収束に「一定の目途が立った」ことを受けての、区切りの条例案。議会は全会一致で可決した。一方、今年に入ってからも、特定健診受診券の誤送付、納税通知書の印字誤りなど、事務処理ミスが続く西東京市。再発防止と活気ある職場づくりに市長がどう取り組むのか。これからが正念場だ。

後藤ゆう子の

9月議会的一般質問から

◎再生可能エネルギーを導入して、めざせゼロカーボンシティ西東京！

地球温暖化により、この夏も世界中で豪雨と洪水、熱波と山火事など異常気象による災害が多数発生しました。気候変動対策に一刻の猶予もありません。昨年政府が行った、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル宣言」を、西東京市も行う予定です。

ゼロカーボンとエネルギー政策は切り離すことができません。生活者ネットはこれまで、公共施設の電力に再生可能エネルギーを積極的に使用すべきと主張してきました。庁舎などの電力会社は入札で決まり、最終的に価格が重視されてきましたが、今後は再生可能エネルギーの導入を必須条件とすることがわかりました。ゼロカーボンへ一歩進んだと、評価しています。

かとう涼子の

9月議会的一般質問から

◎コロナ禍の子ども食堂を、行政はどう支援していくのか？

コロナ禍の中、食事が十分に取れない子どもたちのために、市内各所で子ども食堂やフードパントリーが開かれ、昨年度はなんと延べ8,508食もの食事、食材が提供されました。そうした市民の活動を支えるために、市も緊急対応として約500万円の補助金をつけ、その結果、多くの子どもが子ども食堂へつながりました。

ところが市は今年7月、子ども食堂への補助から食材費を外しました。昨年度と違い、今は学校給食を提供できているとの理由です。コロナ禍による経済的な影響は続いており、せめて今年度中は食材支援を継続すべきと要望しました。

食を通じて子どもを見守り、緊急支援が必要な子どもをキャッチする。そんな市民の活動を、西東京市がどう支援していくのかが問われています。

▶CHECK! 「気候変動対策に関する陳情」が全会一致で可決!

市のゼロカーボンシティ宣言を後押しし、公共施設へ再生可能エネルギー導入を求める陳情が採択されました。温室効果ガス削減に向けた追い風となることを期待します。

コロナ禍の財政運営を厳しくチェック!

コロナに伴う財政需要で、歳出総額が過去最高となった2020年度決算。市民の不安や要望に応える事業が十分に実施できたか、という点には課題が多く、予算化したものの執行率の低い事業や、費用対効果に疑問のある事業も散見されたことから、生活者ネットは決算認定に反対しました。質疑の一端を報告します。



後藤ゆう子の 決算審査から

◎女性の自殺者急増！なぜ西東京市生きる支援対策会議は開催されなかったのか？

コロナ禍の2020年度は、全国の自殺者数が11年ぶりに増加。市内の自殺者数も前年比1.3倍の35人へ、うち女性は6人から14人へと増加しました。ところが、市の自殺対策である「生きる支援推進計画」のスタート年にも関わらず、庁内連携による「生きる支援対策会議」は一度も開催されず…。今後は計画を活かし、地域のあらゆるネットワークを活用して、生きる支援に取り組むことを要望しました。

◎図書館登録者数が減少 活字離れ？ それとも他に原因が？

図書館の登録者数が、減り続けています。昨年、一昨年度はコロナによる休館が大きく影響していますが、登録率の減少傾向はそれ以前から続いています。多摩26市でも同様の傾向があり、原因の特定は難しいそうです。昨年度は全6館に書籍消毒機が設置され、多くの利用があり好評でしたが、ホームページのリニューアルやハンディキャップサービス、大型活字本の配置なども工夫されているだけに残念です。



かとう涼子の 決算審査から

◎感染拡大の最中に消費を喚起 課題多かったプレミアム応援券事業

昨年11月～3月、コロナ第3波襲来のもとで実施されたプレミアム応援券事業（第一弾）。「売上げが減少した飲食店を支援する」と言いつつ、事業の成果指標はチケットの販売実績のみで、どの店でどう使われたか、店の売り上げ回復にどの程度貢献したかのデータもないのはお粗末。感染拡大中の消費喚起による事業者支援策が、果たして適切だったのかも疑問です。

◎高齢者の地域活動は足踏み状態… 行政は全力で支えてほしい!

コロナ禍で、高齢者の活動や地域づくりが停滞していますが、活動再開を市が積極的に支える姿が見えてきません。サロン活動を再開したくても、「施設の定員が半減した」「利用していた施設が使えなくなった」という声も。新たな活動場所の確保は急務の課題です。空き家の利活用のほか、サロン終了後に福祉車両に乗って買い物に行けるなど、活動から離れてしまった人を呼び戻すためのしくみも提案しました。

CHECK! 官製談合事件の事業者が、旧市民会館の解体工事を落札

府中市の官製談合事件で価格情報を不正に入手した事業者が、代表取締役逮捕からわずか1年2ヵ月後に市の入札に参加し、解体工事を落札していたことがわかりました。指名停止期間は終了していたものの、わずか6ヵ月という期間の設定は妥当だったのか？市の指名停止基準の見直しと情報公開を求めています。

ご意見、ご要望お待ちしております。 TEL 042-453-4121

発行責任者：後藤ゆう子（市議会会派：生活者ネットワーク代表）
〒202-0015 西東京市保谷町6-25-1-102（会派事務所）
TEL：042-453-4121 FAX：042-410-0014
発行日：2021年10月12日
後藤ゆう子HP <http://goto.seikatsusha.me/>
かとう涼子HP <http://kato.seikatsusha.me/>

